



環境局

< 基本的な考え方 >

環境局は、本市の基本構想である「元気発進！北九州プラン」に掲げた「世界の環境首都」及び活気ある緑の産業都市を目指す「緑の成長戦略」の実現に向け中心的な役割を果たす。このため、「北九州市環境基本計画」に定める4つの柱に基づき、引き続き市民、団体、企業、研究機関、行政が一丸となった取組みを推進する。

一般会計要求総額

12,727百万円

(対前年度 +18.6%)

「低炭素社会」づくり

拡 北九州スマートコミュニティ創造事業	2,001百万円[環境モデル都市推進室]
拡 地球環境にやさしい「太陽光発電」・「屋上緑化」普及促進事業	110百万円[環境モデル都市推進室]
新 北九州市役所環境・エネルギープロジェクト推進事業	100百万円[環境モデル都市推進室]
拡 アジア低炭素化センター推進事業	64百万円[環境国際戦略室]
新 中小企業省エネ設備導入促進事業	40百万円[環境モデル都市推進室]

「循環型社会」づくり

古紙リサイクル推進事業	276百万円[循環社会推進課]
拡 環境産業ネットワーク形成事業	4百万円[環境モデル都市推進室]
拡 プラスチック製容器包装分別協力PR事業	5百万円[循環社会推進課]
新 レアメタル(リチウムイオン電池)リユースリサイクル拠点形成事業	5百万円[環境モデル都市推進室]

「自然」との共生・「生活環境」の充実

拡 響灘ビオトープ整備事業	385百万円[環境モデル都市推進室]
新 電気自動車等導入及び充電インフラ整備助成事業	28百万円[環境モデル都市推進室]
新 北九州スマートコミュニティ創造事業(グリーングリッド)	13百万円[環境モデル都市推進室]
新 曽根干潟保全・利用計画策定事業	5百万円[環境モデル都市推進室]

「市民環境力」の強化

新 環境ミュージアム整備事業	68百万円[環境学習課]
新 北九州環境みらい共創学習システム構築事業	37百万円[環境学習課]
拡 ESD推進事業	19百万円[環境学習課]

エネルギーを使いこなす社会へ

北九州スマートコミュニティ創造事業

八幡東田地区で、最先端の技術を導入したスマートグリッドを構築。次世代交通システムや高齢化社会への対応など豊かな市民生活を実現する「スマートシティ」を目指す。総事業費約160億円(H22年度～H26年度)

2,001百万円[環境モデル都市推進室]

低炭素型のものづくり社会を目指して

中小企業省エネ設備導入促進事業

工場や事業場における一層の省エネルギー化を推進するため、高効率な省エネ設備を複数導入する企業に対し、省エネ設備導入の設計の支援及び導入費用の一部を補助するもの。

40百万円[環境モデル都市推進室]

豊かな自然環境の確保

響灘ビオトープ整備事業

エコタウン、次世代エネルギーパークと合わせて響灘地区の環境学習資源の一つとして、「自然の回復力」に視点を当てた日本最大級のビオトープを整備する。

385百万円[環境モデル都市推進室]

未来へ向けた環境学習

北九州環境みらい共創学習システム構築事業

市内に多数ある環境学習施設等を有機的に連携させ、周遊しやすい仕組みづくりを行い、全ての市民が低炭素社会づくりに必要とされる知識を総合的に学べるような学習システムを構築する。

37百万円[環境学習課]